

平成19年度 事務事業評価表		担当	産業環境部 産業振興課	内線等	1262
事務事業名	中心市街地活性化関連事業			事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）
根拠法令等	要綱			Dその他	

総合計画での位置付け

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	商業
------	---------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	中心市街地商店街に対して
手 段	中心市街活性化事業に対して補助金を交付することにより
想定する成果	中心市街地の活性化を図るとともに、商店街の振興を促進する。

事業の概要

補助事業・補助金額	平成18年度実績		平成19年度実績		平成20年度計画	
福寿稲荷ごりやく市	6回	1,099,000円	6回	1,170,000円	6回	2,400,000円
チャレンジショップ	5店	360,000円	6店	468,000円	6店	490,000円
竹島ふれあい市	2回	4,000円	2回	3,000円	2回	3,000円
いちおし逸品	1回	386,000円	1回	301,000円	1回	407,000円

成果指標

成果指標名	TMO事業実施項目数
成果指標の説明	TMO構想に定められた事業の実施件数

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		4件				4件				4件			
成果指標													
事業費	事業費	1,849				1,942				3,300			
	人件費	2,335				2,343				2,354			
	(人数)	正規	0.3	非常勤		正規	0.3	非常勤		正規	0.3	非常勤	
	合計	4,184				4,285				5,654			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	4,184				4,285				5,654			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	2	2	イベントの認知度も広がりを見せており、賑わいを見せるようになってきた。
経済効率性	2	2	2	1	集客力のあるイベントを考えて実施している。
事務効率性	2	2	1	2	商店街主体の事業だが、商店街のみの実施体制がとれてない。
必要性	3	3	3	3	中心市街地の活性化に必要な事業である。
小計	10	10	8	8	
施策への貢献度	3	-	2	-	中心市街地の賑わいを取り戻し、商店街の活性化を図る。
合計	13	10	10	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	B	B	福寿稲荷ごりやく市については3年が経過し定着してきたように見える。継続的に実施することによりイベント開催日以外にも商店街に足を運んでもらえるように考えていく。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
福寿稲荷ごりやく市については、広く市民に周知し集客を図るとともに集客方法についても考えていく。
上記改善点の実施状況
平成18年4月1日号と平成19年4月1日号の広報がまごおりの裏表紙に掲載するとともに、集客力のあるイベントを考案し実施した。

今後さらに改善すべき点

イベント開催日以外にも商店街に来てもらえる方策を考える。

平成21年度予算に反映する項目

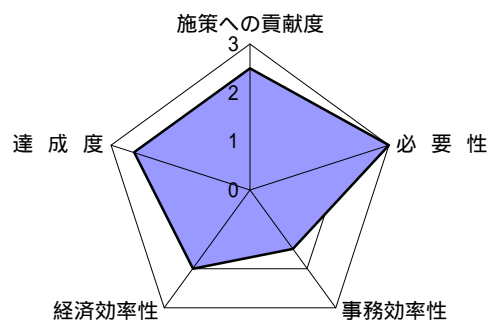
継続して実施していく。

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点